

この劇を見て思ったこと。これからは自分の考えを大切にし、
平和について今日・今まで学んだことを絶対に忘れないで、兄弟や友達にも
「戦争はこの世で一番恐ろしいことで、
平和というものがどれだけ幸せなのか」ということを
できるだけ伝えていきたいと思いました。10代女性(中学生 沖縄県)

戦争を、 二度と繰り返さない。

「戦争体験の継承」
平和劇ロングラン公演プロジェクト

at 沖縄県平和祈念資料館(平和祈念ホール/大会議室)

2024年10~12月(24公演) ※詳細は裏面をご確認ください。
※上映回によって出演者が異なります。

入場無料

出演: 山内 和将 | 仲間 千尋 | 渡久地 雅斗 | 野原 康市 | 渡嘉敷 直貴 | 新垣 晋也 | 安慶名 みりか 作・演出: 永田健作 / 音響: KAKKY / 照明: 福島一嘉

戦争を経験した方々が高齢化する社会において、平和の継承活動をどのように続けていくのか。
これは、沖縄だけではなく日本全体で取り組むべき社会課題であると考えます。
わたしたちは、戦争体験者の証言を元に創作した平和劇を活用して、平和の継承活動を行なっています。

「二度と戦争を起こしてはならない」

戦争体験者の方々が語ってくれたその想いを風化させないために、わたしたちは平和劇のロングラン公演を実施することにしました。
平和な社会を次の世代に繋いでいくために何をするべきなのか、観客の皆さまと一緒に考え続けていきたいと思っています。

戦争を、二度と繰り返さない。

「戦争体験の継承」平和劇ロングラン公演プロジェクト



沖縄戦の後期。沖縄本島南部、糸満のガマに避難した父と娘は、そこで二人の男と出会う。ひとりは教え子を戦場に送りこんだ教師、もうひとりは身分を隠した便衣兵(住民に偽装して戦闘を行う軍人)だった。教師は父親に「この銃で自分を殺してくれ」と懇願する。ガマの中に緊張が走る中、米軍が目前まで迫ってきていた。

来場者の感想

子どもたちにも観てもらいたい内容でした。もちろん、教職員含め保護者にも。平和な世の中、みんなが安心安全に暮らしていく世の中。その尊さを伝えることが、私たち教職に携わる者の第一の使命だと改めて思いました。声をあげていくことが大切。みんなで声を出して、共にこの世界の全ての戦に反対していきましょう。戦のない平和な世がいつまでも続きますように。40代 女性(教職員/沖縄県)

戦争を知らない世代の子たちが戦争について学ぶことは、この先もずっと必要なので続けていってほしいです。とても良い機会だと思いました。50代 男性(会社員/沖縄県)

広島では沖縄戦のことはあまり知られていない。逆に沖縄でも広島のことを知っている人は少ないのではないか。これからはお互いが交流し、互いに勉強することが必要だと感じた。まずは行動すること。そこからすべてが始まると思う。60代 女性(会社員/広島県)

出演 山内 和将 Kazumasa Yamauchi

演劇戦隊ジャスブレッソ所属。琉球大学在学中に舞台を始め、その歌唱力で琉大ミュージカルの主役に二度抜擢される。舞台作品に多数出演するほか、全国公開された『ミラクルシティコザ』にも主要キャストとして出演するなど、活躍の幅を広げている。

野原 康市 Koichi Nohara

株式会社オフィス琉星代表取締役。高校卒業後、舞台役者として数々のステージに立つ。沖縄芸能のプロパフォーマー・琉星太鼓のメンバーとして精力的に活動。教育現場では講師として沖縄の芸能や演技指導を行い、子どもたちの人材育成にも取り組んでいる。

安慶名 みりか Mirika Akena

DC Acting Studio所属。舞台役者として活動し、若手ながらミュージカル等多数の出演実績をもつ。最近ではCM、映画、Webドラマ等活躍の場を広げている。

仲間 千尋 Chihiro Nakama

演劇戦隊ジャスブレッソ所属。高校卒業後、現代版組踊を中心に舞台活動を開始。東京で行なわれたミュージカル公演への出演のほか、長年にわたり上演され続けている『綾庭の宴』では主人公を務めた。CMやドラマなど、映像作品の出演実績も多数あり。

渡嘉敷 直貴 Naotaka Tokashiki

株式会社オリジン所属。劇団O.Z.E.のメンバーとして舞台作品へ多数出演。Webドラマへの出演や、CMのナレーションを務めるなど活躍の場を広げている。劇団で取り組んだ市民劇では演技指導を務めるなど、人材育成に従事した経験あり。

渡久地 雅斗 Masato Toguchi

演劇戦隊ジャスブレッソのリーダー。小学生のときに、地元の子ども劇団に参加。大学生のときに、宮本亞門氏が演出を手掛けた作品『TEE! TEE! TEE!』の主役に抜擢される。全国公開の映画『ミラクルシティコザ』に主要キャストとして出演。自ら演劇作品の企画を立ち上げるなど積極的に活動中。

新垣 晋也 Shinya Arakaki

株式会社オリジン所属。劇団O.Z.E.の頭として、数々の舞台作品をプロデュースし、沖縄の演劇を盛り上げている。自身も役者として、県内の舞台・映像作品に多数キャストイングされた実績をもつ。琉球新報社のドラマCM『父の手』にも出演。

作・演出:永田健作 / 音響:KAKKY / 照明:福島一嘉

公演日程

【1日2公演】開演11:00~/14:00~/ (開場30分前/上演時間60分)

公演日	11:00開演	14:00開演	会場/沖縄県平和祈念資料館
10/2(水)	○	○	平和祈念ホール
10/12(土)	○	○	平和祈念ホール
10/16(水)	○	○	大会議室
10/26(土)	○	○	平和祈念ホール
10/30(水)	○	○	平和祈念ホール
11/9(土)	○	○	平和祈念ホール
11/13(水)	○	○	大会議室
11/23(土)	○	○	平和祈念ホール
11/27(水)	○	○	平和祈念ホール
12/7(土)	○	○	平和祈念ホール
12/11(水)	○	○	調整中
12/21(土)	○	○	平和祈念ホール



観劇の
お申し込みは
こちらから



○入場無料・全席自由席
○未就学児童 入場可能
○団体予約 上限/200名

【主催・問い合わせ先】

「沖縄戦と平和劇」実行委員会 080-6486-3529/heiwageki@gmail.com(担当:永田健作)

支援 沖縄県/公益財団法人沖縄県文化振興会
令和6年度沖縄文化芸術の創造発信支援事業
「戦争体験の継承」平和劇ロングラン公演プロジェクト